



キム・テウ
金泰佑 著『爆撃 米空軍の空爆記録で読む朝鮮戦争』

(2013年、^{チャンピ}創批)

目次

発刊にあたって

第1部 序幕

1章 爆撃の歴史:概観

夢の実現:飛行と空爆の発見/指輪の誘惑:第1次大戦と空爆/戦略爆撃理論の登場/大量虐殺に向かつて:第2次大戦期ドイツと英国空軍の空爆/忘れられた大量虐殺:米国の爆撃政策と人種主義

2章 日帝支配期の朝鮮人と空爆

見慣れない歴史の中へ/遭遇:日本軍の中国大陸爆撃/モンペ部隊:日常に入り込む空爆/少年飛行士の夢

3章 冷戦と空爆

米国、沖縄、そして独島/米国の東アジア対ソ封じ込め政策:沖縄の「空軍力」を活用せよ/独島爆撃事件:朝鮮戦争シミュレーションと民間人の犠牲

第2部 北爆

4章 精密爆撃

平和に対する時代的熱望と爆撃政策/精密爆撃政策の適用/北爆の実行主体と目標

5章 北爆、そして論争の開始

元山爆撃:雲上の無目視爆撃/平壤爆撃:敵の心臓部を破壊せよ/興南爆撃:精密爆撃の異例の成功事例/清津・羅津・咸興・兼二浦・城津爆撃/論争の開始:B-29機による精密爆撃の威力と限界

6章 北朝鮮の被害と対応

衝撃と恐怖、そして憎しみ/防空の登場

第3部 平凡な任務

7章 爆撃の構造

不安定な戦術航空作戦の構造/消えた敵/操縦士:機能主義の戦争マシーン

8章 白衣の敵たち

理解し難い事々について/偵察兵の指示による無差別爆撃/勘に依存したテスト爆撃/「大きさ」政策:立派なものや大きなものを攻撃せよ/白衣の群れに向かう無差別爆撃

9章 韓国地域での大量爆撃

B-29の近接支援:「じゅうたん爆撃」神話の形成/B-29の遮断作戦:交通中心地の破壊/戦闘爆撃機の遮断作戦と武装偵察:動くもの全てを攻撃せよ

第4部 焦土化政策

10章 焦土化政策の決定

戦争初期、ナパーム弾の登場と実験/運命の日:1950年11月5日

11章 燃える雪原

消えた都市:B-29機の焼夷弾投下/小規模集落まで燃やす/生存のための避難と地下生活/南朝鮮の一部地域まで拡張された焦土化作戦

第5部 交渉しながら殺す

12章 機械と人間の戦争

鉄道遮断作戦:敵を窒息させよ/無差別夜間爆撃

13章 航空圧力戦略

航空圧力戦略の確定過程/戦争の最後の局面:民間人の大量犠牲

結び:極端の記憶を越えて平和へ

感謝の言葉

註/参考文献/図版の出典/索引